

# 目指すは地域に貢献する技術者

～飛び出せ高校生技能実習で地域貢献事業の取り組み～



## 飛び出せ高校生 !!

未来の山形県を支える土木技術者の育成を目的として「飛び出せ高校生技能実習（略して「飛び高」）が今年も始まった。

「飛び高」は、高校生が日頃授業を通して学習している内容を実践する場として、県が実施している農業農村整備事業の現場を活用し、農業や土木に対する理解を深めてもらう取り組みだ。授業で学んだ技術が、実際の現場ではどう活かされているか、教室を飛び出し「見て」「体験して」「感じて」もらう技能実習である。

## 土木技術者を続々輩出 !!

最上地域では、平成21年から県立新庄神室産業高校と最上総合支庁が連携し、見学や体験だけではなく発電施設の実証調査やドローンを使ったPR動画作成など様々な技能を活かした実習を展開。14年目となる今年度までに69人が受講し、土木技術者を40人輩出してきた。来春、地域に貢献できる技術者が何人生まれるか楽しみだ。

### 令和4年度飛び高メニュー

- I. 農業水利施設の役割を学ぶ  
☞ 清水揚水機場（大蔵村）
- II. 現場密度試験を体験  
☞ ほ場整備工事現場（舟形町）
- III. ICT技術を使った測量を体験  
☞ ほ場整備工事現場（新庄市）
- IV. コンクリート強度を測定  
☞ ため池工事現場（新庄市）
- V. 地域の話合いに参加  
☞ 中山間地域集落協定など

### 「飛び高」プロデューサーから一言

地域の未来を創る主役は君たちです。授業や「飛び高」で学んだ技術を存分に活かして、やまがたの明日を一緒につくろうぜ！







### オリエンテーション

地域社会が「土木技術者」に求める役割、なかでも“農業土木技術者”に必要な技術や農業農村整備事業の具体的な取り組みを紹介。

### 高校生の感想

- ・農業と土木の関係性について知らなかったので、知ることができてよかった。
- ・高校で学んだことを実際に見て感じて、理解を深められてよかったし楽しかった。



### 現地見学

最上川を水源に、最上地域の水田 3,100ha に農業用水を供給する「清水揚水機場（大蔵村）」。普段見ることのない施設内部まで土地改良区が案内。



取材を受ける高校生

## 卒業生に聞いてみよう

飛び高出身で、令和4年総合土木職員として山形県に入庁した加藤瑠唯技師に飛び高を受けての感想と実際に技術者になってからの心境を聞いてみた。

Q1 当時、飛び出せ高校生技能実習を受けてみての感想は？

A 農業土木を初めて知るきっかけになりました。普段立ち寄れない場所や授業と現場での雰囲気の違いを体験することができ、とてもいい機会でした。

Q2 技術者になってからの心境は？

A 業務をこなしていく中、正直分からないことばかりですが、たくさんの経験を積み、より知識を深めていきたいと思っています。



加藤技師

昨年の飛び高の様子

左：地すべりのメカニズムや地すべり調査観測の状況を学ぶ。

右：ほ場整備実施地区を見学。ドローンの操作体験も。

